

R2年度 保護者アンケート分析

上段 Aーそう思う、Bーややそう思う
下段 A+B 80%以上は高評価(%)
70%以下は低評価(%)

回答数(回答率)
1年202名(96%)、2年171名(96%)
3年158名(91%)、全校531名(94%)

評価項目	1年		2年		3年		全体		考 察
	A	B	A	B	A	B	A	B	
① 学校教育目標や指導重点の達成に向けて、様々な教育活動を行っている。	42	39	43	42	43	47	42	42	高評価項目(昨年比1%減) 昨年度に比べ1%数値は下がったが、概ね評価されたと考えられる。来年度も、教育課程全般で学校教育目標達成に向け、努力していく。
	81		85		90		84		
② 学校の様子を、授業や行事の参観、たよりや懇談などで知ることができる。	54	33	47	41	55	39	52	37	高評価項目(昨年比2%減) 学級、学年、学校だよりやHP等で情報発信を丁寧に行っている成果と言える。しかし、新型コロナウイルス感染症対策により、学校開放日や授業参観等がなくなったことで、昨年度よりも数値が減ったと考えられる。
	87		88		94		89		
③ 生徒が理解できるよう、わかりやすい授業づくりに取り組んでいる。	28	47	23	46	31	40	28	42	(昨年度比6%増) 昨年度より改善が見られる。臨時休業があったため、より授業の内容・進度に力を入れた。今後も学校全体で校内研究や研修にも力を入れ、研究授業等を積極的に進め、先生方の授業力の向上に力を入れて行く。
	75		69		71		70		
④ 生き方を考え、進路や働くことについての進路学習を行っている。	24	43	26	45	38	41	29	43	(昨年比4%増) キャリア教育については、今年度からのキャリアパスポートの導入を踏まえ、より系統的かつ有効活用できるように取り組んでいく。今後も、保護者に対する説明や情報発信をより丁寧に行っていく。
	67		71		79		72		
⑤ 楽しく、積極的に参加できるよう、行事や生徒会活動を工夫している。	32	43	40	37	49	36	40	39	(昨年比1%減) 今年度は、行事の中止や内容変更が多かったため、昨年度に比べ1%と減ったが、今後も世の中や生徒の様子をしっかりと理解しながら、生徒の積極性や自発性を育て、保護者に対して丁寧な情報発信していく。
	75		77		85		79		
⑥ 通信表は、生徒の学習評価や学校生活の状況をわかりやすく伝えている。	44	44	47	43	53	40	47	43	高評価項目(昨年比4%増) 高評価を得ている項目であるが、共通システム導入により今年度より通信表における表記の変更があるため、よりわかりやすい内容になるようにする。また三者懇談において、保護者に対して丁寧に説明すると同時に、日頃から保護者との信頼関係づくりを大切にしている。
	88		90		93		90		
⑦ 挨拶、身だしなみ、時間・きまりの厳守などの生活指導に取り組んでいる。	55	32	44	40	47	50	49	40	高評価項目(昨年比1%増) 昨年度同様、高評価の項目である。日ごろから生徒たちの様子をしっかりと把握し、寄り添った指導になるよう努力している。また生徒会本部や学年生徒会等のリーダーを中心に生徒たち自身が主体的に呼びかけあって守ろうとしている。
	87		84		97		89		
⑧ 生命を尊重する態度や思いやりの心を育てる授業や様々な活動を行っている。	37	37	31	40	41	41	36	39	(昨年比3%減) 今年度は道徳の講演会や赤ちゃんだっこ体験、認知症サポーター講座等、心を大切にしている取り組みがコロナ禍で中止になった。来年度は内容をさらに充実させ、日常生活からしっかりと取り組んでいく。
	74		71		82		75		
⑨ 保健指導や防災訓練、安全点検など、健康管理や事故防止に配慮している。	39	39	40	44	53	36	44	40	高評価項目(昨年比1%増) 実践的な避難訓練や地区別協働防災訓練が定着し、各地域でも生徒たちの防災意識が増している。今年度は地区別協働防災訓練はできなかったが、今後も地域や家庭と連携しながら、主体的に取り組んでいけるように指導していく。
	78		84		89		84		
⑩ 生徒や保護者の学校生活上の悩みなどの相談に、親身になって対応している。	39	36	35	40	38	46	37	41	(昨年比4%増) 今年度も担任や学年主任、SCなど、生徒や保護者の相談には休日や時間問わず、真摯に対応するよう心掛けている。今後も、コロナ禍の不安など日ごろから生徒理解に努め、家庭との連携もしっかりと行い、相談しやすい関係づくりを行っていく。
	75		75		84		78		
⑪ いじめや問題行動、不登校への予防及び早期発見、適切な対応を行っている。	27	30	23	36	25	32	25	33	低評価項目(昨年比4%増) 昨年度よりも4%向上しているが「分からない」の回答が23%と高い数値になっている。この項目への対応は、繊細かつデリケートな部分が多いため、保護者にとっては分かりにくい点もある。今後も個別には迅速な対応をとっていくと同時に、全ての生徒を対象とした教育を行い、家庭との連携を大切にいく。
	57		59		57		58		
⑫ 授業や行事の参観、PTA活動など、参加しやすいように配慮している。	35	43	42	40	45	40	40	41	高評価項目(昨年比同) 今年度は多くの行事やPTA活動が、中止や内容変更になったが、その分学校からの連絡や情報発信を心がけた。今後も日程等に配慮し、学校開放やPTA行事に参加しやすい環境を工夫し、HPやメールを使って情報発信をしていく。
	78		82		85		81		
⑬ 学校生活について、家庭への連絡や情報提供をきめ細かく行っている。	34	41	33	40	39	40	35	40	(昨年比3%増) 学級担任を中心に日頃から家庭と連絡や相談体制がもてるよう努力していく。また今後もHPによる情報発信も日ごろの生徒の様子が伝えられるよう努力する。生徒に対しては、学校からの配布物をその日のうちに必ず渡すように指導していく。
	75		73		79		75		
⑭ 子どもさんは、学校生活を楽しみにしている。	51	37	40	36	60	30	50	34	高評価項目(昨年比2%増) 今年度は行事等の変更や中止が多く心配な項目であったが、その分できる行事には思いを込めてきた。また部活動もより中身を充実させるように努力している。今後も生徒がいそいそ学校生活を送ってほしいよう授業、部活動、行事等すべての教育活動が充実するよう努力し、生徒にとって居場所のある学校づくりを目指していく。
	88		76		90		84		
⑮ 子どもさんは、予習や復習など(塾を除いて)家庭学習に取り組んでいる。	25	35	25	32	23	36	24	34	低評価項目(昨年比6%増) 毎年課題となっている項目であるが、昨年度よりも6%向上している。臨時休業中も含め、家庭学習の大切さも全校体制で指導してきた。今後も家庭学習の指導を具体的に考え、家庭学習の充実に向けて、保護者と連携し改善を図っていく。
	60		57		59		58		
⑯ 子どもさんは、学校でのことを話題にして、よく話をしてくれる。	38	35	40	32	35	35	38	34	(昨年6%増) 昨年比より6%向上した。中学生は、小学校の時より親と話さなくなることは当然予想されることである。その中でも、家庭において話題の材料になるような情報を学級、学年、学校だよりやHP等で積極的に発信していく。
	73		72		70		72		
⑰ 子どもさんの所有する携帯について約束事を決めている	53	26	41	33	39	37	45	32	(昨年比2%増) 学校でも日ごろから携帯、スマホの使用については重点的に指導している。生徒指導通信でも携帯、スマホ使用について家庭に連絡、情報提供をしてきたが、今後も家庭と連携、協力しながら取り組んでいく。
	79		74		76		77		